



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

## 「知の泉」に「緑の風」吹く

令和6年8月29日(木)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

25

2学期始業式で、次の話をしました。

1学期終業式で、「創造とは、古い自分を切り捨て、新しい自分を生み出すこと」という話をしました。また、進路指導部が発行してくださっている通信「羅針盤」のメッセージを、私からも生徒の皆さんへ伝えました。

夏休みを終えた今、自身の取組を振り返り、2学期も「やってみてうまくいかないのは、失敗ではない。やろうとしないこと、最大限の努力をしないこと、まあこんなもんでいいか、と思うことが失敗なんだ」と、自分に言い聞かせて日々の学校生活に全力を注いでもらいたいです。

今回の夏休みに、受験勉強、部活動、学校祭準備など、何かに全力で取り組んだとしても、すぐに目に見える成果が得られるとは限りません。八鹿小学校の校長先生をしておられた東井義雄先生(豊岡市但東町出身)が、「根を養えば、樹はおのずから育つ」という言葉を残しておられます。地上からは見えない「根」が、実はなによりも大切なのだ、という教えです。皆さんは、今年の猛暑の中、一生懸命にその根を養ってきた。そして、家族や先生方は、時に太陽となり、時に雨となって、皆さんの「根っこ」がしっかりと育つようにサポートしてくださった。そんな夏休み。目に見える成果が9月になったらすぐに現れる、必ずしもそういうものではないかもしれませんが、しかし、必ず成果が現れるときがやってきます。あなた自身の「根」をしっかりと育てることに集中してください。長い2学期です。ゴールが遠い、と感じる前に、目の前のことに全身全霊を傾けましょう。気がついたらやりとげていた、そんな2学期終業式を迎えることができますように。